



小浜線利用促進協議会 事務局
新幹線・交通まちづくり課
たかとり たつや
高鳥 徹也 主査

「普段のくらし」に少し小浜線
小浜線をはじめ、全国のローカル線は、沿線人口減少などで、どこも利用者が伸び悩む厳しい状況です。
来年、小浜線は全線開通100周年を迎えます。100年という長い間にわたって、地域に愛され運行している小浜線を、これからもずっと走らせるには、地域の皆さんの協力が必要です。
「いつもは車だけど、今週末のお出かけは」、「出張のときぐらいは」など、皆さんの「普段のくらし」の中に、少し小浜線を取り入れていただき、この機会に小浜線について、考えていただけたらと思います。



あなたのくらしに プラスおばません + OBAMASEN

市や小浜線利用促進協議会では、期間限定で次の助成を行います。ぜひ助成制度を活用して、小浜線を利用してください。助成を受ける方法など詳しくは、新幹線・交通まちづくり課 ☎ 64・6067 へお問い合わせください。

	助成制度	対象者	内容	期限
市	回数乗車券購入助成 (50%キャンペーン)	市内に住んでいる人	10月～翌年2月に購入する回数乗車券の購入額のうち50%を助成	令和4年 2月28日 [㊞]
	みんなでお出かけ助成	市内に住んでいる、もしくは市内に通勤・通学している人	2人以上の小浜線利用で運賃の80%を助成(上限5,000円)	
	二次交通クーポン	小浜線を利用して市を訪れ、市内に宿泊する旅行者	市内のタクシー、レンタカー、市インフォメーションセンター(駅前町)で利用できる3,000円分のクーポンをプレゼント	
小浜線利用促進協議会	新規定期利用助成	嶺南地域に住んでいる、もしくは嶺南地域に通勤・通学する人	定期券購入代金のうち、1カ月相当額を助成 ※過去3カ月以内に、同区間の定期券を持ったことがない人に限る	令和4年 1月31日 [㊞]
	小学生団体利用助成 補助金	嶺南地域にある小学校または自治会・子ども会などの団体	小学生が乗車する場合、乗車する全員の運賃を補助(補助率:小学校は50%、子ども会などは80%)	令和4年 2月28日 [㊞]

※各助成制度は、予算額に達した時点で終了する場合があります

※市では、他にも小浜線利用者向けの助成を行っています。詳しくはお問い合わせください

小浜線では、列車内の換気や消毒などの新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めています

■問い合わせ 新幹線・交通まちづくり課 ☎ 64・6067

小浜線利用促進協議会 HP では、助成内容のほか、各種イベント情報を掲載しています



世帯当たりの自家用乗用車普及台数が、1.727台と日本一の福井県。車が広く普及し、どこに行くにも車が便利な今、公共交通機関を利用する機会が、とても少なくなっているのではないのでしょうか。
中高生の通学や高齢者の通院など車が運転できない人には、電車は重要な移動手段であり、なくてはならない存在です。
地域の公共交通機関である小浜線を守るため、車の代わりに電車に乗ってみませんか。

JR小浜線に乗ろう

定期利用者が多い小浜線

利用者の多くは、沿線の住民で、特に中学生や高校生の通学をはじめとする定期利用が全体の8割を占めており、学生にとってはなくてはならない存在となっています。

また、令和5年度末の北陸新幹線敦賀開業を控え、嶺南地域を東西に結ぶ小浜線は、地域公共交通の基軸として、その重要性が高まっています。

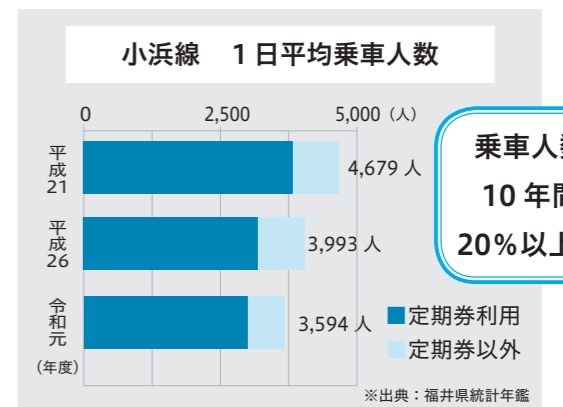
小浜線を利用する人が10年間で20%以上減少

しかし、沿線人口の減少などで、利用者は10年間で20%以上減少しています(下図)。

さらに、昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、小浜線の利用者は大きく減少しました。今年度に入っても依然として利用者数は落ち込んでいます。

こうした状況を受けて、JR西日本は今秋からのダイヤ改正で、

乗車人数が
10年間で
20%以上減少



小浜線をはじめとする多くの路線で減便を行うと発表しました。具体的に、小浜線の1日の運行本数を、敦賀・小浜間で、平日30本・休日28本から毎日24本に、小浜・東舞鶴間で、毎日26本から22本に見直されます。利用者が少ない早朝や夜間、昼間の時間帯の電車が減る見込みです。

もし今後、利用者が回復しなければ、「減便→利便性低下→利用者減少」という悪循環が加速することも考えられます。